

Ⅲ 教育目標に関する調査と考察

前章では、58年度までの研究の経緯をふまえながら、本研究の構想と、研究計画の概要について述べてきたが、本章では、研究の視点に基づき、教育現場における教育目標達成への教師の意識とか、教育目標を達成するための手順、方法をどのように考えて、教育活動を実施しているかなど、調査の結果をもとにして考察を試みた。

そして本県における教育目標と教育課程にかかわる問題点を明らかにして、次年度以降の研究への基礎固めを図ろうとしたものである。

1 調査のねらいと内容

(1) 調査のねらい

県内の小・中・高校における、教育目標に対する教師の意識及び、教育目標を教育活動の中でどのようにして達成しようとしているかを、教育課程の編成、実施、評価の各段階にわたって調査し、その中から教育目標達成にかかわる諸問題や今後の課題を明らかにし、改善・充実のための資料を得ることを目的とする。

(2) 調査の対象

○ 調査対象校

県内の小学校（551校）、中学校（246校）高等学校（95校）を、それぞれ、学校規模別に分類し、各教育事務所ごとに、その約20%を無作為に抽出して、対象校とした。

○ 調査対象者

調査対象者は教諭とし、小規模校（2名）中規模校（4名）、大規模校（6名）を、学校の実情も考慮しながら、年令に片寄りのないように配慮して抽出した。

○ 研究協力校（各教育事務所ごと2校）（14校）

① 学校の規模別分類

学校 \ 規模	小	中	大	合計
小学校	355	161	35	551
中学校	166	54	26	246
高等学校	25	35	35	95
合計	546	250	96	892

※ 分類の基準

(小学校) ㊶1～11学級 ㊷12～25学級

㊸26学級以上

(中学校) ㊶1～11学級 ㊷12～19学級

㊸20学級以上

(高等学校) ㊶生徒数300名以下

㊷生徒数301名～800名

㊸生徒数801名以上

② 学校規模ごとの20%抽出校

学校 \ 規模	小	中	大	合計
小学校	70	35	10	115
中学校	34	11	5	50
高等学校	5	10	10	25
合計	109	56	25	190

③ 調査実施対象者数

学校 \ 規模	小	中	大	合計
小学校	140	140	60	340
中学校	68	44	60	142
高等学校	10	40	60	110
合計	218	224	150	592